

非接触型体温計「実際に使ってみた!」園様の感想をご紹介します

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、「検温管理」が以前にも増して重要になりました。hugmo が販売する「hugsafety スマート体温計」も、春から引き続き 多くのお問い合わせをいただいております。

そこで、今回は hugsafety スマート体温計を実際にご利用いただいている幼保園様からいただいたご意見の一部をご紹介します。

hugsafety スマート体温計のここが良かった トップ 3

1 位:非接触で衛生的



脇で測るタイプの体温計は、複数の子どもに使いまわすときに気を遣いますよね。

非接触型体温計であれば、直接体に触れることがないので消毒の手間がなく、衛生的にご利用いただけるところが良い という声を最も多くいただきました。

非接触型体温計は、集団を預かる保育施設において with コロナ時代の必須アイテムといえるかもしれません。

2 位:測定が早い

わずか 3 秒で測定できるので、検温業務の短縮につながっていると実感すること。

測定時間が短ければ、こまめな検温が必要なときでも職員の負担を最小限にすることができます。

3 位:こどもが嫌がらない

小さなこどもが、脇に体温計を挟んで数十秒じっとするというのは、結構大変ですよ。

「測定が早い」とも関連しますが、数秒かざすだけで測定ができるので、職員だけでなく、こどもの負担も少なく良いという感想をいただきました。

正しくお使いいただくために

非接触体温計は、その特性上、外気温や直射日光などの影響を受けやすくなっています。

測定する際は、15℃以上の屋内で利用するようにしましょう。

また、寒い場所において額が冷たい場合は、体温が低く表示される可能性がありますので、室内の温度に慣れ、額が温まるまで待ってから測定してください。

>測定方法の動画をご紹介します<

<https://www.youtube.com/watch?v=C2Ap-ETJtW8>

緊急事態宣言の頃は 体温計が品薄で、体温計用のボタン電池までも一時売り切れになったところも。これから寒さも一段と本格化しますので、お求めの場合はお早めにお問い合わせください。

ちなみに、hugsafety スマート体温計はアルカリ乾電池でご利用いただけます。

誤飲リスクの高いボタン電池ではなく、入手しやすい乾電池で使えるところもポイントです！

▼——ご紹介キャンペーン実施中 体温計プレゼント！——▼

お知り合いの園様に hugnote または hugsafety をご紹介いただくと、ご紹介元の園様へ hugsafety スマート体温計を 1 本プレゼントします。

※2021 年 1 月末までにご紹介先の園様が契約(3 カ月以上)の場合

BabyTech® Award Japan 2020 powered by DNP 大日本印刷 受賞記念企画

hugsafety スマート検温サービスは、健康管理部門で、優秀賞を受賞

▼——hugsafety スマート体温計について、ご質問・お問い合わせはこちら——▼

<https://www.hugmo.net/inquiry?c.code=20201222>